

11. 沖縄（地域別調査機関：（財）南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	観光名所（職 員）	来客数の動き	・施設利用者数は、3か月前の平成19年5月は前年同 月比で105.2%、今月は8月25日現在で115.4%と高い 伸びとなっている。8月の沖縄への入域観光客も前年 同月比で順調に伸びている。来園者は、家族連れ、 カップル、学生等が中心である。
		その他のサービ ス[レンタ カー]（営業担 当）	来客数の動き	・8月も入域観光客数が好調に推移しており、県内レ ンタカー業全体の稼働状況は良い。しかし稼働単価は 下落傾向にあり、必ずしも売上が好調とはいえない。
	やや良く なっている	家電量販店（従 業員）	販売量の動き	・売行きはやや好調だが、買い控えや買い回りも起き ている。地上デジタル放送への移行の影響で良いと思 われがちだが、懸念材料も多い。
		観光型ホテル （商品企画担 当）	単価の動き	・前年に比べて、旧盆シーズンを含む需要の高い時期 において単価が上がっている。
		観光型ホテル （営業担当）	販売量の動き	・台風の影響も無く、盆休みの時期の集客が好調で、 売上の状況としては良い。
		通信会社（店 長）	来客数の動き	・来客数、販売数共に若干ではあるが増えている。
	変わらない	一般小売店[衣 料品・雑貨] （経営者）	販売量の動き	・8月に入ってから来客数は前月比で45%も増加してい るが前年同月比では80%と減少している。この減少傾 向は続いており、同業者も同じ状況と聞いているが、 リピーター対策が上手くいっていないのが要因として 挙げられる。
		百貨店（担当 者）	販売量の動き	・中元ギフトを始め、衣料等の売上が好調に推移して いる。中元は前年で大きく伸長したことから、苦戦を 予想していた。しかしギフトセンター開設後から動員 が良く好調であり、最終的には前年比3%増である。 今月の11日前後は本島内において200年に一度という 豪雨により一時的に苦戦を強いられたが、旧盆明けの 28日以降は夏物最終セールや秋物の動向が良く、衣料 では最終的には前年比13%増の大幅な伸長となってい る。
		コンビニ（経営 者）	単価の動き	・来客数が減少しているが、客単価は上がっているの で変わらない。
		コンビニ（エリ ア担当）	客の様子	・以前のように新商品等にプラス1品購入していた状 況から、新商品のみ購入といった状況で、買物を最 小限にとどめており、購買意欲はあっても購買力が低 下している状況は変わらない。今月もデザートでヒッ ト商品が出ているが、既存品が減少しているため売上 は前年並みと、全体の底上げにはならない。こういう 傾向が続いている。
やや悪く なっている	衣料品専門店 （経営者）	来客数の動き	・ここ数か月と前年の同時期を比べると、街の人通り が少なくなっている。	
	その他専門店 [楽器]（経営 者）	販売量の動き	・前年同月からの売上の減少が著しい。競争相手やイ ンターネット販売の増加等で状況は厳しくなってい る。また、物余りや価格競争で在庫も増えて、利益の 確保も厳しい。	
	その他飲食[居 酒屋]（経営 者）	客の様子	・期間的な要因で平月の120%と、例年同月並みの売 上は維持しているが、平日の地元客が減っており、観 光客の数で補っている。地元客の来店頻度、平均単価 が下がっている。	
悪く なっている	商店街（代表 者）	競争相手の様子	・出店が観光土産品店に偏っているため、地元客は郊 外の大型店に流れてしまい客割れを起こしている。	
	その他専門店 [書籍]（店 長）	競争相手の様子	・以前は大手と呼ばれていた競合店が閉店し、これで 今年に入って既に4店目となる。客のほとんどが本土 資本のナショナルチェーンの本屋に流れて、地元資本 の本屋はかなり厳しい状況になっている。	
企業 動向	良く なっている	-	-	-

関連	やや良くなっている	輸送業（営業・運営担当）	受注量や販売量の動き	・コンビニ関連商品の取扱量増と大型店出店に伴う作業の増により受注量が増えている。一方では飲料関係が3か月前よりは増えているものの、計画より伸びない。全体的には若干の輸送量増である。
	変わらない	食料品生産業（管理部門）	取引先の様子	・現在の原価高騰下でも受注価格の引き上げは不可能である。長期間据置き状況下にある。
	やや悪くなっている	コピーサービス業（代表者）	受注量や販売量の動き	・当社と同じ規模の同業者の話では、8月も7月と変わらず厳しい。給料も支払えない会社もあり、従業員が辞職していくケースもある。当社はここまではいかないにしても、年々売上が減少している厳しい状況はいまだ続く。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・派遣依頼数の変化はあまりみられない。また夏場の単発的な需要もあるが、売上・利益を大きく変えるほどのものではない。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・2007年7月の新規求人数は2,877人、前年同月は4,596人、2007年4月は2,526人、前年同月は3,606人となっている。有効求人倍率は同順でそれぞれ0.45倍、0.59倍、0.45倍、0.55倍となっており、それほど大きい変動はみられない。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	求人数の動き	・県内外の求人数・求人件数共に順調に推移しているものの、業界別による特に顕著な動きはみられない。
	やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（営業担当）	求人数の動き	・求人数が減少傾向にある。採用活動に消極的傾向が見受けられる。
悪くなっている	-	-	-	